

「子どもを守るネットワーク」事業 子どもネットニュース



VOL. 136

社会から子どもを、育て、教え、守るには

子どもを守るネットワーク総会学習会 小澤副会長(青梅商工会議所会頭)が講演

子どもを守るネットワークは、8月20日(木)総会および学習会を実施し、副会長である青梅商工会議所会頭の小澤順一郎さんより、社会からどのように子どもたちを守り育てていくかについて、ご講演をいただきました。

私たち生物の重要事項は「種の保存」であり「子どもを守ること」

生物の生きる意味は種の保存であり、子どもを守ることは人間にとっても重要なことです。そして、子どもが大人になるまでに10年以上時間がかかります。この期間を大人たちはどう守っていくべきでしょうか？



講演する小澤副会長

社会と子どもの関係は？

これまでどのように子どもを守ってきたかという、群れを作り、社会を作ることによって子どもを守ってきました。第一の社会は家族です。ひと昔前は核家族ではなく、おじいちゃんおばあちゃんと共に暮らす大家族でした。たくさんの人に囲まれ、多様性と生き方を学ぶことが基本だったのです。第二の社会は村・群れ社会でした。地域とのつながりも強く、誰の子どもか地域も知っていたので、子どもを守ることができました。

現在は、核家族化が進み大人と関わる人数が減少、さらに地域との繋がりも希薄になり、隣人のことさえ知らないのが現実です。デジタル化も進んだことで、アナログな人付き合いよりデジタルでいいという考えも生まれるようになり、人間関係がますます希薄になりつつあります。社会が変わっても、子どもに必要なことに変わりはありません。社会から「育て・教え・守る」意識を持ち続けなくてはなりません。

最後に

社会から子どもを守るうえで、「子どもを守るネットワーク」の活動は非常に重要です。そのためにも、大人たちひとりひとりが「子どもを守る」意識を持ち、関わってまいりましょう。引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。



ソーシャルディスタンスを保ち、開催しました



「子どもを守るネットワーク」事務局

〒190-0012 立川市曙町2-15-20-5F 連合三多摩ブロック地協内

TEL 042-529-5550

FAX 042-529-5552